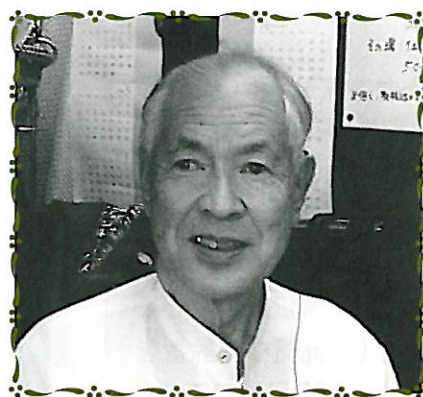
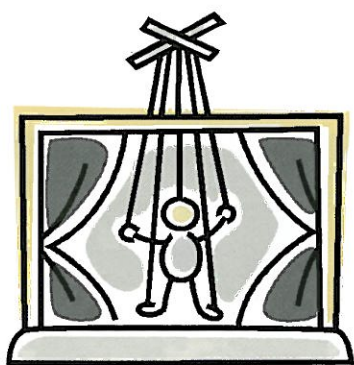




キラリ☆シニアライフ

一聴こえの会 会長

山口 文雄さん ～大船渡市在住 77歳～



大船渡市中心部、海の香りのするさわやかな街の一角で山口さんとお会いしました。

「聴こえの会」を平成8年3月に設立。山口さんご自身が難聴者であり、買い物、銀行などちょっとした用事なのに、各受付などで「私耳が聞こえないので・・・」という説明から入って用件を話そうとするため、やり取りがスムーズにいかず後回しにされたりすることもあるそうです。そこで考案されたのが「耳マーク」。耳の形をした表示板を役所、スーパー、病院、銀行などに設置の協力依頼をしました。さらに、同じマークの「カード」を所持して所用の際提示すると、相手もあらかじめ筆談からやりとりができるため、難聴者の方が用を済ますための負担軽減につながります。

また、「耳が聞こえないと引きこもりがちになる」という山口さんご自信の経験から、会員同士の交流会も積極的に企画しています。

夏にはバスを借りて旅行、11月には年の瀬を前に「しめ縄製作」行事。会員とその家族の方々と親睦を深め、共に支えあおうとする山口さんの優しい配慮から提案された企画です。

「今後はさらに広い地域へ『耳マーク』を普及してゆけるよう活動に力を入れてゆきたい」と抱負を語られました。

(この事業の一部に、岩手県長寿社会振興財団の「近所支え合い活動助成金」が活用されています。)

～お知らせ～

平成22年2月上旬に県内振興局単位(10箇所)で「近所支え合い助成金説明会&相談会」を実施します。詳細につきましては高齢者社会貢献活動サポートセンターまでお問い合わせ下さい。

あとがき



豊かな暮らしを目指すため、明るく元気に地域活性化に励むみなさんの姿がとても印象的で輝いて見えました(滝)

発行／岩手県保健福祉部長寿社会課
〒020-8570 盛岡市内丸10-1
Tel:019-629-5432 Fax:019-629-5439
企画・編集／岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター
〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 アイーナ6階
Tel:019-606-1774 Fax:019-606-1765



もくじ

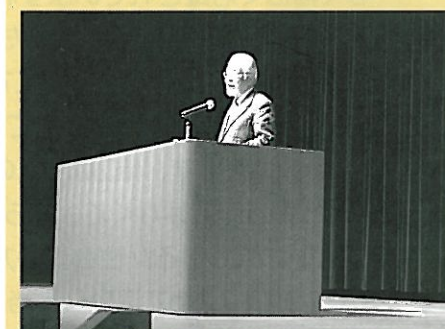
- 1ページ <特集>
「高齢者ふれあい・生きがい・支えあいフォーラム」
- 2・3ページ <拝啓、がんばっています!>
～県内の活動団体紹介～
まだまだ現役! 地域支援で第二の人生
岩崎いきいきシルバー人材クラブ(北上市)
笑顔あふれる「ふれあい横丁」
NPO法人サポートセンターNPOえさし(奥州市)
- 4ページ <キラリ☆シニアライフ>
聴こえの会
山口 文雄さん(大船渡市)

「高齢者ふれあい・生きがい・支えあいフォーラム」

平成21年11月19日、盛岡市市民文化会館(姫神ホール)で「高齢者ふれあい・生きがい・支えあいフォーラム」が開催されました。<主催:岩手県、高齢者社会貢献活動サポートセンター>

社会福祉法人潤沢会理事長坂巻熙(さかまきひろむ)氏の「共に支えあう・はつらつ人生」と題した基調講演において、氏は高齢者を孤立させないで、お互い支え合い、助け合って生きていくことの重要性和新しい「知縁」「結縁」という視点で、自分の存在を社会に結びつけ、自立していくことの必要性を訴えられました。また、男女間の老後の意識の違いを紹介して、これからの生き方の価値観を変えて、今後の社会の手本となるような生き方を目指してもらいたい、とお話されました。聴講された皆様方からいただいたアンケートには「意識の持ち方で生き方が充実することを再認識しました」「わかりやすく、ユーモアがあって楽しかった」「今までの考え方を少しかえて生きていきたい」などの声が多く寄せられています。

その後の活動事例発表では、嵯峨直樹氏(盛岡市老人クラブ連合会)、久保田サツ子氏(二戸市社会福祉協議会浄法寺支所)、清藤隆夫氏(岩手町豊岡自治振興会)、小野寺アキ子氏(NPO法人「第二のわが家」)の4氏からそれぞれの活動内容の紹介が行われ、坂巻氏を交えてのパネルディスカッションでは活発な意見交換が行われました。困難を乗り越えながら一生懸命活動されている事例を聴かれた皆さん方からは「具体的な実践例が中心であり、今後の活動の参考にしたい」「これからの高齢化社会には、必ず必要なことで大変興味を持った。私もやってみたいと思った」などの感想がアンケートに綴られ、大変貴重な情報交換の場になったようです。高齢者がふれ合いながら、生きがいを持ち、支え合って暮らししていけるよう、明るく、元気な地域活動への取り組みが、これからもっと大きく広まっていくことが期待されます。



〈講演する社会福祉法人潤沢会理事長坂巻熙氏〉



〈事例発表・パネルディスカッションの様子〉



拝啓、がんばっています!

まだまだ現役!地域支援で第二の人生 岩崎いきいきシルバー人材クラブ (北上市)

平成19年6月北上市和賀町岩崎に岩崎いきいきシルバー人材クラブが設立されました。(和田忠一会長 会員28名)

元気高齢者が第二の人生を楽しみながら地域支援活動を行うことで、高齢者自身の生きがいづくりの場となり、地域の活性化や福祉意識の向上を目指しています。活動の様子を和田会長に伺いました。

「他の地域の活動状況を参考に、自分たちも地域支援活動に取り組みたい!と決心し地元で同志を募り活動を始めました。高齢者世帯のために夏は草刈り、冬は除雪、元床屋さんの会員の方は無料散髪出張、地元でのイベントでは駐車場整理係等行っています」と活動範囲を限定することなく幅広く活躍されています。また、「私たちは高齢者であるが、心身共に元気でまだまだやれることはたくさんある。地域みなさんが明るく元気で過ごせるようお役に立ちたいし、会員同士も楽しくやっていきたい」と述べられています。設立して2年、現在は多くの方に活動が認知されてきており、同地区ではなくてはならない存在となっています。

活動されている女性会員の方は「最初は敷居が高い印象があったが、入って活動し本当に楽しいです。今まで顔しか知らなかった地元の方との交流が深まって、人とのふれあいの大切さとすばらしさを感じとても充実しています」と感想を語られています。

子供たちとの交流にも積極的で、ホタル狩り、ドジョウ取りを一緒にいき、現代っ子にはあまり体験できない学びの場を通して子供達とふれあう機会を作っています。

同会では今後も更なる地域交流活動を活発化させることで、豊かな暮らしを高めてゆくことを目指しています。

(この事業の一部に、岩手県長寿社会振興財団の「ご近所支え合い活動助成金」が活用されています。)



〈中心的に活動されている会のみなさん〉



〈草刈り作業をされている様子〉



拝啓、がんばっています!

笑顔あふれる「ふれあい横丁」 NPO法人サポートセンターNPOえさし (奥州市)

奥州市江刺区のNPO法人サポートセンター NPOえさし(後藤明理事長)は、NPO法人として平成15年3月から活動を始めました。現在は、移送サービスや高齢者を対象とした転倒・骨折・認知症等の予防のための毎月27地区で月一回の出前介護予防教室「お茶っこの会」を開催したり、介護保険制度や認知症についての講座も開催するなど幅広く活動しています。高齢者の生きがいづくりを応援し、元気な高齢者を増やすことにより地域全体の活性化につなげる目的でこのような活動に取り組んでいます。

このうち同区中町の「ふれあい横丁」は空き店舗を活用した高齢者の活動拠点の場として、月ごとに地元高齢者の作品を展示したり、地元の新鮮かつ安全な野菜を販売しています。若い方から高齢者までが利用しているため、地域全体の活性化につながっています。

佐藤香子所長は「ちょっとしたきっかけや、一人一人思ったことを積極的に実践しています。主旨、目的はスタッフみんな同じ方向を向いて活動することです」と話してくれました。

「ふれあい横丁」の利用者からは、「バス停の近くなので立ち寄りやすく、交流の場として高齢者とふれあえてとても嬉しい」と感想を述べられています。

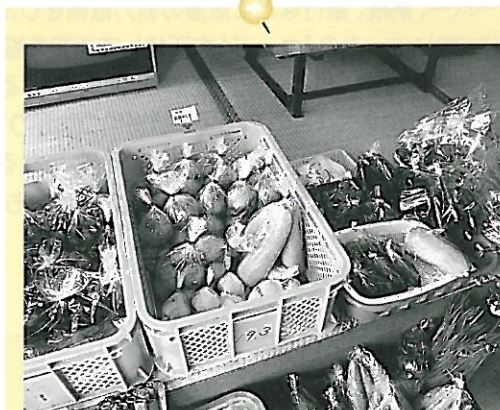
あたたかく迎えてくれるスタッフとの会話は、訪れた方が再度足を運びたくなるきっかけとなり、高齢者のために外出する機会を提供してくれる「ふれあい横丁」の良さでもあります。

また、このような地域の拠点は、地域の資源や課題の発掘につながり、「住民一人一人のまちづくり」として期待されています。

(この事業の一部に、県が拠出する特定公益信託「いわてNPO基金」が活用されています。)



〈高齢者と地域住民が交流できる「ふれあい横丁」〉



〈「ふれあい横丁」に持ち込まれた地元の新鮮野菜〉